



九州大学法科大学院の六本松地区への移転について

現在、九州大学は、箱崎地区から伊都地区へのキャンパス移転を行っています。法学部を含む文系地区も、平成29年度から平成30年度にかけて、伊都地区に移転することが予定されています。

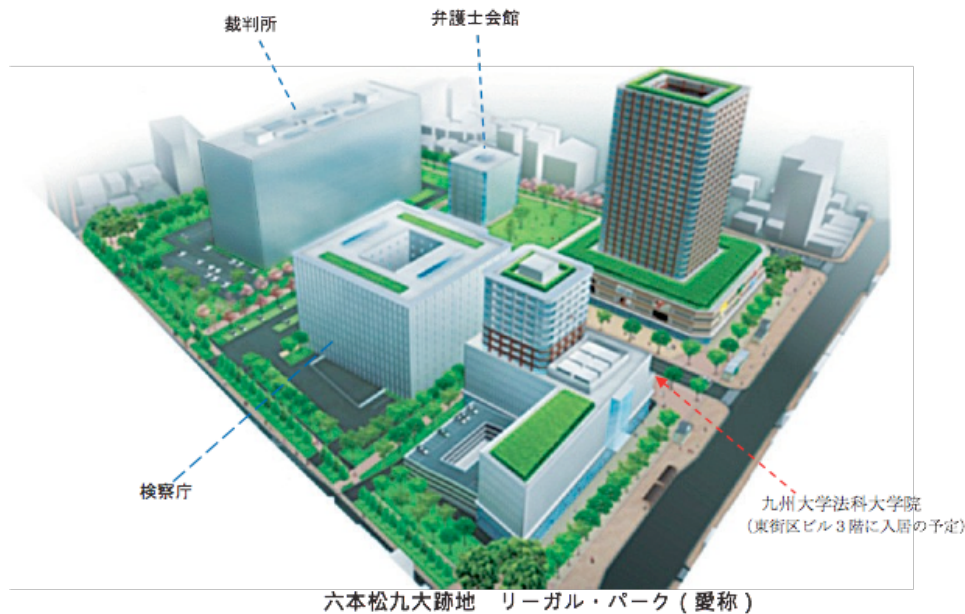
これに伴い、法科大学院の移転も問題となりますが、すでに報道で伝えられている通り、九州大学法科大学院は、伊都地区ではなく、六本松地区に移転することが決定しています。現在の計画では、平成29年の後期から、六本松地区で授業が開始される予定です。

六本松地区は、九州大学の旧教養部が所在した伝統的な文教地区であるばかりでなく、福岡市でも指折りの賑わいのある地区です。九州一の繁華街である天神地区からも近く、福岡市営地下鉄七隈線の六本松駅から天神南駅までは、わずか8分（3.7km、運賃260円（西鉄バスの場合は運賃190円））で到達できる距離です。加えて、六本松地区は、交通の便に極めて恵まれている環境にあります。福岡市営地下鉄七隈線は、平日、土曜・休日ともに6～8分に1本の割合で電車が走っています。六本松地区は、西鉄バスを使っても、各地区から大変容易かつ便利にアクセスすることができます。



福岡市交通局のホームページ（<http://subway.city.fukuoka.lg.jp/eki/route/index.html>）に掲載されている地下鉄路線図を加工の上使用

九州大学法科大学院の六本松地区への移転は、リーガルパーク構想の一環として行われるものです。これは、裁判所、検察庁、弁護士会などの庁舎や会館が九州大学の旧教養部跡地（約6.5ha）に移転する予定であることから、九州大学法科大学院も同地区に移転して、同地区を司法関係者が集積する街にしようという構想です。法曹関係機関に隣接させて法科大学院を立地させるという全国的にも例のないリーガルパーク構想を土台として、移転後は、法科大学院教育をより一層充実させることができるようになります。



なお、平成27年度入学の未修者からは、在学中に六本松移転が行われこととなります。箱崎地区と六本松地区とは、約8km離れており、公共交通機関でおおむね40分から50分かかります。箱崎地区からの通学も十分可能です。

